



# 北方領土

平成29年10月(第6号)

発行元：北方領土返還要求運動福島県民会議

## 福島県民会議通信



「北方領土福島県民会議通信」では、北方領土返還要求運動に取り組む福島県民会議の主な活動の様子について紹介しています。北方領土問題について、ひとりひとりが関心を深めることで、北方領土の早期返還を実現させましょう！

### 平成29年度総会及び上映会の開催【平成29年6月9日】

福島市の杉妻会館で平成29年度総会を開催し、平成28年度の事業報告及び収支決算、平成29年度の事業計画及び収支予算について承認されました。

また、総会では、北方領土の早期返還の実現に向けて、本県民会議の理事を務めるボーイスカウト福島連盟理事長の安齋 精児 氏が決議文を読み上げ、政府に対し、強い意志と毅然たる姿勢で対露交渉を行うよう求めるとともに、県民意識の高揚を図って政府の交渉を後押しするため、引き続き粘り強く北方領土返還要求運動を展開していくことを、満場一致で採択しました。



あいさつをする小林会長



決議文を読み上げる安齋理事



(C) JAME

総会に引き続き、終戦直後の北方四島を舞台にしたアニメーション映画「ジョバンニの島」の上映会を開催しました。

映画の主人公は、実在する元島民の方をモデルとしており、北方四島に突如としてやって来たソ連軍が引き起こす混乱や不安の中、懸命に生き抜こうとする幼い兄弟の姿を中心に、日本人が島で生活し、ロシア人と交流していた場面も描かれています。

出席者からは「戦争の悲劇で家族が大変な目に遭ったりと今の時代には考えられないことだけど、たくさんの人にこの映画を見ていただいて、一日も早い解決を願いたいと思いました。」等の感想が寄せられ、鑑賞しながら涙を流す方もいらっしゃいました。

## 北方領土青少年等現地視察事業【平成29年7月22日～25日】

福島県民会議の主催により、19名(中学生13名、引率教員4名、福島民報社記者1名、事務局1名)の視察団を組織して、3泊4日で実施しました。

本事業は、青少年等を主な構成員とした視察団を北方領土隣接地域に派遣して現地視察等を実施することにより、参加者に北方領土問題を身近な問題として捉えてもらい、返還要求運動を継承してもらうことを目的とするもので、本県民会議の実施は3年目となりました。

視察団一行は、北方領土隣接地域(根室市、標津町等)を訪問し、北方領土(歯舞群島・国後島)の望見、啓発施設の見学、元島民(色丹島出身 得能 宏 氏)の講話聴講などを通して、北方領土問題への理解を深めました。

また、視察中には根室海上保安部で日本の領海を守る海上保安庁の業務について説明を受けたほか、標津町教育委員会学芸員の歴史授業を受講し、江戸時代には会津藩が現在の標津町に陣を構え、北方警備に当たっていたことなどを学びました。標津町内の北辺防衛会津藩士顕彰碑にも立ち寄り、会津藩士の墓に手を合わせました。

参加生徒からは、「元島民から直接話を聞き、テレビ越しに感じていた問題意識が変わった。」「私たちの世代も、しっかりと北方領土問題について関心を持たなくてはならないと強く感じた。」等の感想が寄せられ、今後の彼らが返還要求運動を継承していくことが期待されます。



納沙布岬より北方領土を望む



元島民 得能宏さんとの記念撮影



根室海上保安部 巡視船内の見学



会津藩士の墓に手を合わせる参加生徒

## 北方四島交流訪問事業（一般；都道府県民会議主体）【平成29年7月20日～24日】

本事業は、北方領土返還要求運動関係者等が北方四島を訪問し、各島に在住するロシア人との交流を図り相互理解を深めることにより、北方領土問題の解決促進に資するために実施するものです。

都道府県民会議を中心に全国各地の返還運動関係者等が国後島及び択捉島を訪問し、日本人墓地の墓参り、公共施設の視察、住民交流会などを行いました。本県民会議からは、会員団体である福島県市議会議長会から会員の目黒 章三郎 氏が参加しました。

今回の訪問は秋田県民会議が主管となって実施され、交流会では秋田県の“なまはげ”が登場し、会場を盛り上げました。また、秋田県の民俗文化である“竿燈”を紹介するためにミニ竿燈作り体験も行われ、参加した現地のロシア人は交流しながら日本文化を楽しみました。（写真提供：(独)北方領土問題対策協会）



「なまはげ登場」の様子



「ミニ竿燈作り」体験の様子

## 北海道・東北ブロック連絡協議会【平成29年7月26日】

この会議は、北方領土返還要求運動の推進を図るため、北海道・東北各県の担当者らが一堂に会し、情報の共有や今後の課題等の協議を行うものです。今年度は宮城県民会議が主管となり、仙台市内で開催されました。

会議では、各道県民会議の本年度の重点事業や道県民大会等における講演会の実施に関する課題等について意見交換をするなど、活発な議論が交わされました。また、(独)北方領土問題対策協会の担当者からは、北方四島交流事業や元島民の航空機墓参の実施状況等の最新の情勢について報告がありました。

## 北方領土青少年交流のつどい【平成29年7月26日～27日】

本事業は、北方領土問題の早期解決に向けて、次代を担う青少年の北方領土問題に関する正しい知識の習得を目的として実施するものです。今年度は宮城県民会議が主管となって仙台市内で開催され、本県からは、猪苗代町の中学校より中学2年生2名と引率教員1名が参加しました。

参加者は、元島民(歯舞群島多楽島出身)の河田 隆志 氏の当時の体験談などを聴き、北海道根室高等学校教員で北方領土根室研究会顧問の富谷 進 氏による「北方領土に関する模擬授業」を受けました。

また、2日目には視察研修が実施され、参加者は仙台うみの杜水族館を見学した後、せんだい3.11メモリアル交流館を訪問し、館員の方から東日本大震災による被害や復興の状況について説明を受けました。（写真提供:北方領土返還要求運動宮城県民会議）



北方領土に関する模擬授業の様子



せんだい3.11メモリアル交流館見学の様子

## 北方領土返還運動全国強調月間【平成29年8月】

8月は「北方領土返還運動全国強調月間」であり、全国で講演会やパネル展などの行事の開催、各種媒体による広報が実施され、積極的な返還要求運動が展開されました。

本県民会議では、北方領土返還に関する県民意識の高揚を図るため、路線バス(福島市及び郡山市内)のバスフロントマスクによる啓発広告を実施し、また、県内の市町村長に住民に対する啓発を依頼するなど、運動への理解と参加を広く呼びかけました。

## 北方領土問題青少年・教育指導者現地研修会【平成29年8月1日～2日】

(独)北方領土問題対策協会の主催により、全国の中学生及び社会科担当教諭等に北方領土問題に理解と関心を深めてもらい、学校教育現場における北方領土教育の一層の充実を図ることを目的として、根室市内で開催されました。本県からはいわき市の中学校より中学生2名と社会科担当教諭1名が参加しました。

研修会では、納沙布岬からの北方領土の視察、啓発施設の見学、元島民の体験談の聴講、北方領土問題に関する模擬授業などが実施されました。また、研修の成果を踏まえて中学生は「北方領土壁新聞」の作成、社会科担当教諭は「北方領土授業構成案づくり」を実践し、2日間の研修を終えました。



研修会の様子

### 【編集・発行】

北方領土返還要求運動福島県民会議

事務局：〒960-8670 福島市杉妻町2-16（福島県総務部県民広聴室内）

TEL:024-521-7013 Fax:024-521-7934 Mail:koucho@pref.fukushima.lg.jp



イメージキャラクター「エリカちゃん」、「エリオくん」